

大阪市立中野小学校にて「障がい理解について」 啓発活動を行いました

令和3年11月29日(月)に都島区地域自立支援協議会当事者部会より福祉教育の依頼があり、啓発キャラバン隊「YO～おこし」のメンバーが、中野小学校で啓発活動を行いました。

【大阪市立中野小学校にて】



今回は、3年生の皆さんが、「ゆうくとチューリップ」の紙芝居に熱心に耳を傾け、「けろけろ王国」や「りんごと気持ちを絵に描く」体験型にも積極的に参加してくれました。

「けろけろ王国」の体験をしてくれた二人の生徒さんが、ケロッピー君とケロ子ちゃんにいきなり「ケロケロ、ケロケロ」と話しかけられ、「何言ってるかわからへん!」「どうしたらいいねん!」と言いながら戸惑い焦っている姿に、会場からも笑いが起こり、和やかな雰囲気が進めることができました。

時間の都合上、予定していたプログラムを全て行うことはできませんでしたが、私たちの啓発活動の後は、ポッチャ体験交流も行われ、生徒の皆さんは、楽しく有意義な時間を過ごされたことと思います。

今後もより良い、わかりやすい啓発活動を展開できるようにプログラムの内容も充実させていきたいと思っています。

【障がい理解の啓発活動:「けろけろ王国」の体験】



「仲間づくりの教室」～新成人を祝う集い～ が開催されました

令和4年1月9日(日)に阿倍野市民学習センターにおいて「仲間づくりの教室」～新成人を祝う集い～が開催されました。

例年は受講生全員(約160名)が参加し、賑やかなお祝いの集いとなりますが、本年も昨年同様にコロナ禍であることに留意し、感染拡大防止の観点から、新成人となられた9名の受講生とそれぞれのご家族が参加され、あらたまった席にも和やかな雰囲気のなかで行われました。

当日は、来賓として、大阪市教育委員会 生涯学習部 担当課長 大多一史様ならびに、大阪府立住之江支援学校 校長 南晃二様にもご出席いただき、温かいお祝辞を頂戴しました。

【お祝いのことば/大阪市教育委員会 大多 一史様】



また、開会後はお一人お一人の写真を映しながら、ご家族がエピソードを交えてご本人の紹介をされました。それから、新成人の皆さんは舞台へ登壇して、順番にこれからの抱負を話されました。

【新成人としての抱負を語る櫻井 天さん】



皆さん少し緊張された様子でしたが、中には今日のために原稿を作ってきたと言う方もあり、「社会人として頑張りたい。」「今の仕事を続けて頑張っていきたい。」「仕事を任せられるようになりたい。」「バンド活動をやっているので頑張りたい。」等々、これからの目標をしっかりと話されていました。